

JA みづま だより

2021

1

月号

No.441

三瀬町農業協同組合



www.ja-mizuma.or.jp



年頭のごあいさつ



三浦町農業協同組合
代表理事組合長 命婦 勝典

明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

2020年は、2月頃より日本で発生・拡大した新型コロナウイルス感染症により、4月に緊急事態宣言が発令され、経済活動が抑制されました。その結果、個人消費、企業収益、雇用情勢が急速に悪化しました。農業分野においても、店舗の営業時間短縮や学校の臨時休業により給食の食材の供給先を失う等の影響を受けました。

農林水産省はこのような状況を踏まえ、感染症の影響を受ける事業者に対して、事業の継続を下支えするために支給する「持続化給付金」や感染症発生により売り上げが減少する等の影響を受けた高収益作物（野菜・花き・果樹・茶）について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援する「高収益作物次期作支援交付金」等の政策が行われました。

さらに、7月には「令和2年7月豪雨」が発生し、熊本県を中心に九州や中部地方等で家屋や圃場・ハウス等に甚大な被害を受けました。

J Aでは感染症対策として「持続化給付金」「高収益作物次期作支援交付金」の説明会の開催や土曜朝市・出張朝市、Grateful fes、会議等の中止又は自粛を行っており、今後も継続していきます。

そして、JA経営を取り巻く環境変化を踏まえ、地域農業とくらしを支え続けるため、持続可能な経営基盤の確立にしっかりと取り組んでいきます。

J Aでは今後も感染症対策の継続及び自然災害発生時に迅速な対応ができるよう職員一丸となって頑張ってまいります。

最後になりますが、この新しい年がより良い年となりますよう心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

代表理事組合長 命婦 勝典

代表理事専務 田中 義信

金融共済担当常勤理事 野田 司



自己改革の取り組み報告

1. 担い手農業者の方々と徹底した話し合い

【組合員訪問活動の強化】

組合員の生の声を聴いて、担い手経営体の課題に対し、関係部署との連携した事業提案を行い、組合員へのさまざまな要望にお応えしています。

【消費者・実需者のニーズを踏まえた計画的な農産物の生産・販売】

【農機レンタル事業の実施】

全農が行う農機レンタル事業を活用した農産物生産の省力化へ取組んでいます。



2. 農業者の所得向上に向けて、農産物販売事業の見直し



【消費者・実需者のニーズに対応した加工、業務用野菜の販売拡大】

米・いちご・たまねぎの加工業務用の販売拡大に取組んでいます。

【GAP普及活動や生産履歴記帳の指導および管理の徹底】

安全安心な農産物出荷のため米・麦・大豆・野菜・果物の生産履歴記帳の指導を行っています。

3. 農業者の所得向上に向けて、生産資材購買事業の見直し

【化成肥料・水稻除草剤等の品目集約】

JJA管内の全生産者を対象に化成肥料・水稻除草剤等の品目集約を行い、低コスト生産の支援に取組んでいます。

【大型規格農薬・新規ジェネリック農薬の普及拡大】

農薬の低コスト化を図るため大型規格農薬・新規ジェネリック農薬の普及拡大に取組んでいます。



4. 農産物販売事業改革への取組み



【フクユタカの後継品種として『ちくしB5号』試験栽培】

【地産地消のため地元市場への販路拡大】

園芸作物を地元の市場へ出荷しました。

【食育活動の実施】

地域農業や農産物の関心向上のため小学校での食農教育実施しています。

【みづまの里農産物直売所を活用した地元野菜のPR活動】

直売所での販売のほかに試食会や出張朝市など様々なイベントを開催し地元野菜をPRしています。

5. 農業生産資材購買事業改革への取組み

【低コスト肥料の開発】

久留米地区ネットワーク(9JA)で低コスト肥料の開発を行い、「ちくごのめぐみ444」・「NK化成2号」の販売を行っています。

【県統一規格段ボールによる輸送試験の実施】

農家の所得向上に向け、市場までのたまねぎ段ボールを県統一規格にすることで出荷経費の削減を図ります。



J A みづま

11/13 大豆収穫開始

JJA管内では大豆の収穫が行われました。今年産は「フクユタ力」約216ヘクタール、「ちくしB5号」約1ヘクタールの作付けを行っており、その内JJAが約80ヘクタールの収穫を受託しており、5台のコンバインが各圃場へと収穫に向かいました。

大豆は収穫後、大豆施設へと運び込まれ、乾燥・調整を行います。



11/13 川嶋さんが久留米市農業功労者を受賞

JJA管内生産者の川嶋英敏さんは久留米市内で開かれた久留米市農業表彰式典に出席し、「久留米市農業功労者」を受賞しました。川嶋さんは法人を設立し、代表理事として収量向上への取り組みや、たまねぎ部会部会長在任中は生産量向上やブランド力強化に取り組み、産地育成に尽力されました。さらに担い手連絡会役員や筑後地区農業共済組合総代等の要職を歴任し、地域農家と組織を繋ぐ立場等、地域農業の振興に貢献されたことが認められ表彰されました。



11/17 青色申告「LINE公式アカウント」事例報告

JJA農業青色申告部会事務局は、JJA福岡教育センターで開かれたJJA青色申告担当者研修会で先進事例報告を行いました。

部会が今年の夏より取り組んでいる「LINE公式アカウント」を利用した部会運営について、接触機会の低減やペーパーレスの観点から大変実用的であることを説明、報告後はビデオ通話機能に関する問題点について質問が飛び、生産者宅のネット環境の整備等について熱い議論が交わされました。

担当者は「確定申告期は新型コロナウィルス感染症の活動が活発になるため接触機会を減らしたいが、やはり対面でないと伝わらないニュアンスがある。今のうちに可能な限りの準備をすべきだと考えている。」と話しました。



11/18 イチゴ共同出荷開始

JJA管内ではイチゴの出荷時期を迎えるまえに、いちご集荷場でイチゴの初出荷式を行いました。

出荷式にはいちご部会3役、検査員が出席しました。今年度産は生産者56戸、作付け面積約10ヘクタールの作付けを行っており、販売高6億6千万円を目指します。



11/18

高良大社に新米を奉獻

JJAは久留米市御井町の高良大社に新米のヒノヒカリ120kgを奉獻しました。
奉獻は毎年行っており、新米は新嘗祭や祭典行事にも使われます。



12/1

タマネギ定植レンタル機貸出

JJA管内ではタマネギの園芸作業用レンタル機を使った定植が行われました。

レンタル機は自己改革の一環として平成30年より作業時間・労働力の削減を図り面積を維持する目的に取り組んでいます。

レンタル機を使用した生産者からは「これまでJJAからタマネギ苗を購入し、人を雇用して定植をしていた。レンタル機の導入により苗の灌水作業等の管理は必要だが、定植時間の短縮や労働力の削減になっている」と話しました。



12/2

田中さん家族が家族経営協定を締結

JJA管内に住む田中キミ子さん家族（キミ子さん・極さん）は家族経営協定を締結するため、三潴総合支所で調印式を行いました。

調印式ではJJA、福岡県朝倉農林事務所、久留米市三潴総合支所の各代表者が立会人を務め、家族経営協定が締結されました。

極さんは、「家族の役割を理解し合い対等な立場で農業経営を行い、これまで以上に安心で安全な農産物の生産に励みたい」と今後の抱負を述べました。





風邪のときにはおかゆがお薦め

風邪の症状は人それぞれですが、風邪のときにお薦めなのが定番のおかゆです。おかゆにどんなパワーがあるのか見てみましょう。

・消化吸収しやすい

最大の長所は消化しやすくエネルギー源になること。回復に必要なエネルギーを胃腸の負担も少なく吸収できます。

・飲み込みやすく、水分が取れる

風邪症状が喉の痛みに現れた場合、食欲はあっても飲み込むのがつらいことで食事が取れなくなってしまいます。おかゆは程よい粘度があり軟らかいため、喉の通りが比較的スムーズで飲み込みやすい形状となっています。水を飲むのもつらいときでも、おかゆが食べられるなら、水分摂取ができます。

・エネルギー源・タンパク質になる

お米の栄養素は主に炭水化物ですが、お米にもタンパク質が含まれています。食べられそうなら食材をいろいろ混ぜておかゆだけでは不足しがちな栄養素を附加して、少しでも栄養バランスを整えることができます。卵をプラスするとさらに体内で効率的にタンパク質を合成することができます。

・食事時間を短縮できる

軟らかいため食べやすく、食事時間を短縮することで頭痛や倦怠(けんたい)感のある風邪のときの体力的な負担を和らげます。

・回復に合わせて徐々にご飯に戻すことができる

水分量や加熱時間によって硬さが調節できるので、症状に合わせて食べやすく作ることができます。回復するにつれて徐々に普通のご飯に近づけていき、胃腸の動きも無理なく元に戻すことができます。

・炊飯器で作って調理が簡単

体調が悪いときには、できるだけ簡単に調理したいですし、長時間立っているのもつらいものです。おかゆなら炊飯器にお米と分量の水を加えてスイッチオンするだけなので手軽な上、出来上がるまで休憩することができます。火を使わないので、安全に調理ができる安心です。



久留米地域農商工連携ビジネス研修会開催のお知らせ

久留米市では、久留米広域連携中枢都市圏域の農業者や商工業者を対象に、「久留米地域農商工連携ビジネス研修会」を開催します。

【日 時】令和3年2月10日(水)13:00～15:30

【会 場】久留米ビジネスプラザ(久留米市宮ノ陣4丁目29番11号)

【参加費】無料（要事前申込）

【定 員】会場内収容人数40名。オンラインでの受講可能人数100人。

(令和3年1月8日から1月26日まで受付：先着順)

【内 容】基調講演とビジネスセミナーの2部構成(オンラインによる配信を実施)

基調講演(主催:久留米商工会議所)

・コロナ禍で需要が伸びているネット通販の世界と活用について

〔ビジネスセミナー〕

・通販モールにおける商品が売れるための3大要素、出店プランとサポート体制の紹介

・自分で作るオンラインショップの作り方・運営についてなど

TEL:0942-30-9165 FAX:0942-30-9717
e-mail:noumi@city.kurume.fukuoka.jp

令和2年分確定申告について

今年の確定申告会場については、1月25日(月)から受付を開始いたしますので、2月16日を待たずに書類がそろえば早めにご来場ください。

本年の確定申告会場は新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で開設します。

検温の実施、マスクの着用、最少人数でのご来場など納税者の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【ご来場に当たって】

確定申告会場には「入場整理券」が必要です。

入場整理券は申告会場で当日配布しますが、LINEアプリでも事前発行しています。入場の際は、日時を記載した入場整理券又は日時を表示したLINE画面の提示をお願いします。

【申告会場】久留米税務署(久留米市諏訪野町2401-10)

【設置期間】令和3年1月25日(月)～3月31日(水)

※申告・納期限とは異なりますのでご注意ください。

【受付時間】午前9時～午後4時

【問合せ】久留米税務署TEL:0942-32-4461(自動音声案内に従い「2」を選択してください。)



大きな動きのグーパーで血行促進

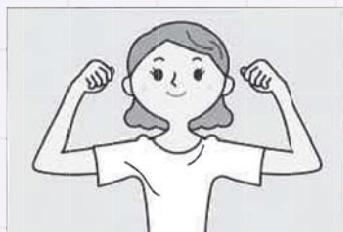
いよいよ寒さも本番です。この時期は体が縮こまりやすく、血行も滞りがち。肩凝りをはじめ、関節痛や首痛など〇〇痛がこの時期に多く現れるのは、寒さで筋肉が収縮して硬くなることが大きな原因の一つです。

今回は、腕の曲げ伸ばしなどの大きな動きを取り入れて血行を促進し、肩凝り解消にも役立つ体操をご紹介します。

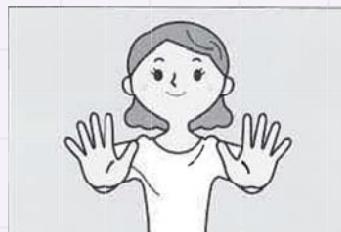
2秒間で伸ばし、2秒間で曲げる、をゆっくりしたペースで繰り返し、30秒ほど行います。痛みが出る場合は無理して行わず、でき速さ、できる範囲で行いましょう。

座ったままで行える簡単な体操なので、デスクワークや勉強の合間に使うと良いでしょう。

動きに合わせてグーパー



(1)両肩の位置で両手を握ります。肘を少々後ろに引いて背筋も伸ばします。



(2)両腕を前に伸ばし、指先まで元気よく開きます。



(3)両肩の位置に戻して両手を握ります。



(4)腕を上へ伸ばして指先を開きます。(1)～(4)の動きを繰り返します。

ポイント 動かすときには反動はつけず、「イチ、二、イチ、二」と声に出しながら行うとリフレッシュにもなりお勧めです。

応用 (1)のときに両手を開き、(2)では伸ばした両手を握るというように、グーとパーを逆にやってみましょう。



家族の健康

健康科学アドバイザー●福田千晶

寒い季節の農作業で注意したい脳出血

寒さが誘引する病気の一つに脳出血があります。動脈硬化や加齢で傷んだ脳の血管に急に大きな圧力がかかると、脳の血管が破れて脳出血になります。

脳出血は、ほとんど前兆がなく発病し死に至ることもあります。命が助かっても後遺障害が一生残る場合も多いです。手足が自由に動かせなくなるまひ、言葉や視界の障害、記憶力や集中力の低下などさまざまな障害が残る可能性があります。場合によっては介護が必要になることもあります。

前日より気温が一気に下がった朝や温度差が大きい日に血圧は上がりがちです。血圧が高いのに、生活改善や必要な治療を行わず放置していると、脳出血を起こしやすくなりとても危険です。

日頃から塩分の取り過ぎ、多過ぎる飲酒量、喫煙、ストレスなどの生活習慣は、高血圧につながります。思い当たる人は、高血圧予防のために生活習慣の見直しも大切です。

コロナ禍で「医療機関には新型コロナウイルス感染者がいて恐いから、行かない方が良い」と、定期的な通院を中止し、病気の治療が中断したままの人もいます。脳出血の予防には、まず、高血圧の人は適切な治療が必要です。今まで控えていた人も、通院を再開しましょう。血圧がやや高めになってきた人も、食生活や運動、睡眠など生活を見直してみてください。

農作業はトラクターで生活は自家用車、そんな運動不足の人はウォーキングなどの運動を継続しましょう。食生活は栄養バランスを考え、塩分控えめにして薄味に慣れましょう。冬になって寒い日に農作業をするときは、時間をかけて寒さに慣れてから作業を始めます。急に寒い場所に出たり、グッと腕に力を入れると血圧が上がります。毎日血圧を測定し、高い日や気分が悪い日は農作業を休む勇気も大事です。



13の人权の課題 その6

★外国人

日本に暮らす外国人が増え続けるなか、入店・入居の拒否や差別的労働環境、ヘイトスピーチなど外国人をめぐるさまざまな人权問題が発生しています。文化の多様性を認め合って外国人の生活習慣を理解・尊重するとともに、お互いの人权に配慮しましょう。

土曜朝市開催について

犬塚購買店は土曜朝市を行います。

直売所会員が作った新鮮野菜・加工品、みづまの光グループのおこわや手羽先・手羽元の唐揚げ等を販売します。ぜひお越しください。

【日 時】令和3年1月16日(土)午前8時30分～正午※

【場 所】犬塚購買店

【お問い合わせ先】営農経済部資材課 TEL:0942-64-4373

※犬塚購買店と資材集約センターは午後5時まで営業しております。

【新型コロナウイルス感染症対策】

朝市を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症の予防として次のような対策を取らせていただきます。

- ・感染状況により中止とさせていただく場合がございます。
- ・職員はマスク着用で対応させていただきます。
- ・マスク着用・手指消毒にご協力ください。
- ・密を避け距離を取ってください。
- ・咳や熱等の体調不良の方は来場をご遠慮下さい。



ご協力お願ひいたします。

JAバンク福岡 定期積金「食の恵み」

締め切り
間近

JAでは定期積金を新規で預け入れされた方へうれしいキャンペーンを実施しています。締め切り期間が間近ですのでこの機会にぜひJAにお預けください。

JAバンク福岡定期積金「食の恵み」を新規にご契約された方の中から、抽選で「福岡県産農産物」をプレゼントします。

【期 間】令和3年1月29日(金)まで

【対象商品】JAバンク福岡定期積金「食の恵み」

【預入期間】2年間以上

【契約金額】24万円以上

【懸賞品】①お野菜・果物詰合せコース
②農産物加工品詰合せコース
③福岡県産米コース



【抽選発表】令和3年2月中旬

※懸賞品の送付をもって、当選者の発表とさせていただきます。

【お問い合わせ】金融共済部貯金グループ TEL:0942-64-2212



明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症によるイベントや会議の中止又は自粛、さらに豪雨による被害等明るい話題が少なかったように思えます。今年は明るい話題が増えるといいですね。今年もよろしくお願いいたします。(安部)



三潴町農業協同組合

〒830-0102 福岡県久留米市三潴町田川211
ホームページ: www.ja-mizuma.or.jp

お問い合わせ

(0942)
64-2211